



とよ・たち

vol.18

美肌通信 1月号

花 原 栗 母

今月号の表紙



2017年 とよたち1番目の
表紙は、今年の干支のとり
です！ 今にも 動き出しそうな
かっこよさ (o) とっても かっこいい!!!!

糸会をかく事とバレエが好きで、

ピアノをひく事も得意な
女の子がかいてくれました♡♡

院長はじめ、

スタッフ一同バヨリ!!

感謝いたします。



稲森和夫氏の金言に、人間は自分が
生まれたときよりも死ぬときの心のほう
が美しくな、て死ぬようにしなくては
いけない、というのがあります。

この言葉は私の心にストーンと落ちた
んです。そして頭の中に「敏」という一
文字がうかびました。言いかえれば「アン
テナ」とでも言いますか。敏であるとは
例えば「こうゆうことです。後ろにも目を付
けておけ」と私は親に子供の頃言われた
ことがあるのですが、要はそうゆうことで
す。その位でなければ「心が美しくなんて
ならないのでしょう。

言葉に敏感でない人はエネルギーも
生まれません。少なくとも私はそう思い
ます。人間のエネルギーは言葉によって触発

されて生まれてくる。だから言葉にもっと
敏感でいようと。

孔子も「敏なれば則ち功あり」と言っ
ています。敏の人は必ず成果が表われると
いうことです。

では敏になるためにはどうすれば「良いか」。
やはり素直なんです。そして聞くことです。
聞くには3段階あって、先ず耳で聞く
次に頭で聞き最後に心で聞くこと。そう
すれば敏になれるんです。

敏にしていると頭の中に知識や技術が
結構スーッと入ってくるものです。

心が鍛えられ豊かになってくるのだと思っ
ます。いわば心の秀才(美くなる)になる
のだと思います。

院長: 拝